

前回の委員において各委員からのご指摘を受けて修正した箇所（中間案に反映済み）

| 関連項目                                 | 指摘事項                                                                                                                        | 対応                                                                                                                   |
|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第4<br>京都市の現状                         | 「強み」として全事業所の99%以上が中小企業であることが挙げられているが、それは京都に限ったことではないため、「伝統産業やベンチャー企業、機械・金属など意欲溢れる多彩な中小企業がある」といった表現にしたらいいのではないか。             | 「中小企業が支える産業」の説明文を「京都市は、伝統産業からベンチャービジネスまでの多彩な中小企業が集積し、京都の産業を支えている。」と記載。（本冊9頁）                                         |
| 第6<br>新ビジョンにおける<br>検討の視点             | <b>若者のベンチャーが育つ環境作りをもっと打ち出す施策が必要</b>                                                                                         | 「1 多様で活力あるものづくり企業の育成と発展の支援」の中に「国内外から意欲にあふれる学生を京都に集め、起業家精神の涵養やネットワークの構築、ビジネス化への支援など学生ベンチャー創出を行う支援環境を整備する。」と記載。（本冊21頁） |
| 第7・第8・第9<br>重点戦略<br>先導プロジェクト<br>主要施策 | 「知恵産業融合センター事業の推進」について、「商工会議所と密接に連携し…」と記述されている。提唱しているのは商工会議所だが、京都工業会や伝統産業の団体等もあるため、「商工会議所をはじめ、関係機関・団体と密接に連携し…」といった記述にしていきたい。 | 「事業の推進に当たっては、地元経済団体との密接な連携の下、取り組んでいく。」と記載。（本冊16頁）                                                                    |
|                                      | （国内製造業が海外市場に関する情報を持っていないことを踏まえ）マーケティングに関する記述をもう少し加えていくとよいのではないか。                                                            | 3つの重点戦略の戦略Ⅰに「イノベーションによる高付加価値のものづくりとマーケティング」と記載。（本冊13頁）                                                               |
|                                      | 「マンガミニクラスター（仮称）の形成」について、「プロデューサーの創出」という表現は、「発掘」「練成」など、すでに存在している中から見つけ出すといった意味に変えたほうがよい。                                     | 「有能なプロデューサーの発掘・養成」と記載。（本冊18頁）                                                                                        |
|                                      | 「中小・ベンチャー企業支援の強化」のソーシャルビジネスに関する記述について、「地域の社会的課題解決に…」とあるが、「地域の」は省いても良いのではないか。地域の課題に限らず、より大きな課題に広げていけるようにしていきたい。              | 「様々な社会的課題の解決に取り組む企業の起業と成長を支援する。」と記載。（本冊20頁）                                                                          |
| 第11 成果指標                             | 市内総生産，税収の増加，雇用者数，人口の増減，企業立地率等                                                                                               | 検討の結果、製造業における市内総生産を指標に設定。（本冊27頁）                                                                                     |
| 第12<br>ビジョンの推進に<br>向けて               | 企業，市民等のビジョンの推進主体について，市民等と並列に「関係機関・団体」を一項目として設け，「諸機関とも連携していく」という文言を入れたほうが，連携が明確になるのではないか。                                    | 「12 ビジョンの推進に向けて」に(5)経済団体の役割を記載。（本冊28頁）                                                                               |